

## 支え愛地域づくり事業

# 地域の笑顔を支え愛

平成26年から取り組んでいる支え愛地域づくり事業。ボランティア活動の支援や地域経済の活性化により、市民・事業者・行政が一体となって地域を支える仕組みです。3年間の成果と今後の展開について紹介します。

問合せ先 地域振興課

### 導入の背景

日本では、全国的に少子高齢化が進んでいます。約10万人が暮らす可児市も例外ではありません。平成28年時点の高齢化率は約25%ですが、2040年には36.4%になると予測されます。今後は若い世代が減って市の税収が減少する一方で、社会保障費などの支出が増加してきます。このため、これまでのような行政サービスを維持していくことは難しくなっています。これからも可児市が住み心地の良いまちであり続けるためには、市民、事業者、行政が協力し合って地域を支えていくことが必要です。そのための仕組みの一つが、支え愛地域づくり事業です。

### 支え愛地域づくり事業とは

支え愛地域づくり事業の特徴は、地域通貨Kマネーを活用し、地域のボランティア活動の支援と地域経済の活性化を循環させる仕組みになっていることです。これらの活動が循環することで、市民、事業者、行政が一体となって地域を支えています。市はこの支え愛地域づくり事業をモデル事業として、平成26年度～28年度の3年間実施してきました。

### 3年間で4倍に

市はより多くの市民にボランティア



地域振興課 吉田拓矢

## 支え愛地域づくり事業の仕組み

市が指定したボランティア活動を行うとポイントがもらえます。ポイントはKマネーと交換できます。

Kマネーは市内の協力店で使えて、協力店によってはプレミアム特典を受けることができます。協力店にはKマネーを換金する際に、額面の1%を社会貢献協力金として負担いただきます。この協力金を財源として活用することで、社会貢献システムを運営していきます。



活動に参加してもらったため、ポイントを得られる活動や対象団体を増やすなどの工夫をしてきました。その結果、ボランティア登録者は平成29年1月末時点で13,800人となり、制度開始時から約4倍に増えました。また、ボランティアには10代～80代の幅広い年代が登録するなど、この事業が市内のボランティアに受け入れられたのではないかと考えています。

事業について、ボランティアの皆さんから意見をいただくこともあります。例えばポイントはシールを手帳に貼って貯める仕組みになっていますが、ポイントの貯まった手帳を見ると自分たちの活動への感謝の気持ち伝わってきて、元気がもたらえるという声をいただきました。またKマネーを協力店で利用するだけでなく、市や社会福祉協議会に寄付できるようにしたこと、より多くの社会貢献ができること喜びました。これからも皆さんの意見を取り入れながら、ボランティアに参加しやすい仕組みづくりを進めて、活動を後押ししていきたいと考えています。

### ポイントを使わずにKマネー

ポイントは交換で得られるKマネーは、地域でたくさん使われるほど効

果が高まります。協力店は流通量が多いほどビジネスチャンスにつながりますし、利用者は利用できる店が多いほど使いやすいからです。

そこで、市の補助金や報償費の一部をKマネーで交付したり、商工会議所を通じて一般販売も行ったりするなど、発行量の拡大に取り組んでいます。Kマネーを使える協力店は432店舗、そのうち使用時に特別なサービス(プレミアム特典)がある協力店も141店舗と増えており、ますます使いやすいようになってきています。

なおKマネーは、今年4月から各連絡所での販売を始めます。お近くの連絡所で購入できるようになりまので、気軽にお買い求めください。

### ボランティアを始めてみませんか

ボランティアをやってみたい人は、可児市社会福祉協議会(☎0561-550101、福祉センター内)にお問い合わせください。ご希望の地域や内容に合うボランティア活動を紹介いたします。

同協議会のホームページには、ボランティアに関するさまざまな情報が載っています。ボランティア団体や活動内容なども確認できますので、こちらもご覧ください。

### 対象ボランティア活動

対象となるボランティア活動は子育て世代の安心づくり(子育て世代が安心して暮らせるための活動)と高齢者の安心づくり(高齢者が地域で健康、安気に暮らせることにつながる活動)です。具体的な活動は次のとおりです。

#### ○子育て世代の安心づくり

- ・キッズクラブ
- ・本の読み聞かせ
- ・小学生の放課後の生活と遊びの場です

- ・子ども遊び相手、見守り、事業協力
- ・託児(子育てサポーター)
- ・防犯パトロール
- ・子ども食堂(平成29年度)

- ・図書館のちびっこかっこタイムで読み聞かせをします

#### ○高齢者の安心づくり

- ・生活支援サービス
- ・移動支援
- ・草むしりや掃除など、家庭内の作業が困難な人を手助けします

- ・宅老所、サロン
- ・移動手段がない人の買い物や病院への往復を手助けします

- ・歩けず可児302運動の支援活動
- ・介護予防支援活動
- ・敬老事業
- ・見守り事業
- ・小物作り、音楽鑑賞などを楽しく憩いの場です

図書館での本の読み聞かせ  
(あおむしくん)



菊地和義さん

いつも新鮮、毎回緊張

あおむしくんのスタッフは、読み聞かせの初心者から経験者までさまざまです。子どもたちに本や図書館を好きになってほしいという思いで活動しています。読み聞かせに来る子どもたちは、年齢層も反応も毎回違うので緊張します。それだけに、子どもたちから「ありがとう」「楽しかった」と感想を聞くと、やってよかったと感じます。読み聞かせに使う本を持ち寄って相談していますが、それぞれが選ぶ本のジャンルが違って、読んだことのない本を発見できます。新鮮な気持ちで本や子どもたちと関わる活動を、一緒にやってくれる人をお待ちしています。



絵本や紙芝居の他に手遊びなども交え、利用者と一緒に楽しめます

サロン  
(広眺ヶ丘サロン・三々五々<sup>さんさんごご</sup>)



国枝のり子さん

サロンで利用者が元気に

三々五々は毎回約50人のお年寄りが利用していますが、みんな元気で前向きです。利用者が出し物を披露する行事では、出演した利用者から「来年も出たい」と言われますし、サロンを利用し始めて元気になり、デイサービスの回数を減らしたおばあちゃんもいます。そのように元気になった人や、サロンで明るくおしゃべりする人を見るのが三々五々の宝物です。ボランティアや利用者の仲が良いのもこのサロンの特徴です。何かできることはないかと利用者の中から運営ボランティアを始めた人もいます。これからも、利用者がお互いのつながりを大切にするサロンであり続けたいと願っています。



クリスマス会では利用者が得意の出し物を披露

キッズクラブ  
(旭小学校キッズクラブ)



渡邊聖也さん

自分に合ったボランティアを見つけてほしい

子どもたちがとても元気で、にぎやかなクラブです。年齢が近いこともあって子どもたちが気軽に接してくれるので、若い人も始めやすい活動だと思います。周りの先生も経験豊かな人が多く、子どもたちとどのように接するかなど、いつも助けていただいています。大勢の子どもと関わり、一人一人の個性や接し方が分かるようになるなど、キッズクラブでの活動が自分の成長につながったと感じています。ボランティアに少しでも興味のある人は、まずは経験してみることをおすすめします。キッズクラブだけでなく、花いっぱい運動など地域にはいろいろなボランティアがあります。その中から自分に合っているものを見つけられると、楽しく続けられると思います。



ボランティアの皆さんが、子どもたちの遊びや勉強を見守ってくれています

約1400人がボランティアとして活躍する、支え愛地域づくり事業。10代から80代の幅広い年齢層が活動するなど、支え合いの輪は広がっています。地域で活躍する3人に話を伺い、ボランティア活動の魅力を語っていただきました。

輝いています 地域のボランティア

